

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 7 日現在

機関番号：32404

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520155

研究課題名（和文） 昭和江戸小唄の世相観と座敷舞踊の表現

—昭和十二年～十五年「舞踊小唄名曲集」の分析

研究課題名（英文） The worldview of Edo *kouta* and the art of *zashiki* dance: An analysis of *Buyō kouta meikyokushū*

研究代表者

矢島 ますみ (YAJIMA MASUMI)

明海大学・経済学部・准教授

研究者番号：80220135

研究成果の概要（和文）：本研究は、株式会社日本蓄音器商会在昭和 12 年から 15 年に発行した「舞踊小唄名曲集（SP レコード 48 枚、96 曲）」と舞踊小唄解説集（舞踊写真入り解説書）を資料としながら、昭和初期の小唄をめぐる座敷舞踊文化の一樣相を浮かび上がらせることを目的とする。小唄の庶民的で粹な内容やニュアンスを残しながらも、近代化・西洋化する社会のニーズを意識した華やかな作品となっており、発行後期にあつては、戦争の影響が作品に反映している。

研究成果の概要（英文）：This study investigates one aspect of the *zashiki* dance culture surrounding the *kouta* of the early Shōwa period. This is accomplished by making reference to the *Buyō kouta meikyokushū*, a collection of 48 SP records (96 songs) and a dance guidebook released by Nipponophone Co., Ltd. (currently known as Nippon Columbia Co., Ltd.). These songs are uniquely colourful works exhibiting awareness of the needs of a modern, westernized society, while preserving sophisticated content and nuances of Japanese *kouta*. Their subject matter and glamorous choreography also reflect the influence of the war.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010 年度	500,000	150,000	650,000
2011 年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,300,000	690,000	2,990,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：芸術学、芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：大衆芸術・舞踊・小唄・SP レコード

1. 研究開始当初の背景

本研究の分析対象である『舞踊小唄名曲集（以後、名曲集）』は、昭和初期に第一線で

活躍していた音楽関係者と舞踊関係者が、その小唄と舞踊の発展を祈願し、レコード会社と協力のもと、新作書き下ろしの「視るレコ

ード」として作成したものであり、小唄および舞踊にとって、その時代を映す特筆的な活動記録である。特に、この SP レコードシリーズは、舞踊の写真付き振付解説書が付けられていることが大きな特徴である。SP レコードの一般普及時期に、昭和初期の舞踊文化の豊かな諸相を写し出すものとして、この名曲集の保存と分析は、貴重であり着手すべきものと考えた。

2. 研究の目的

本研究は、昭和初期の小唄の隆盛とともに、小唄振りや小唄舞踊が一般社会に浸透していく過程に注目し、株式会社日本蓄音器商会（日本コロムビアの前身）が当時の一流の歌手や作詞家、舞踊家の協力のもとに「舞踊小唄名曲集（昭和12年～15年発行、SPレコード48枚）」と「視るレコード」としての機能を持たせるために舞踊小唄解説集（一曲30-40ページの舞踊振り付け写真入り解説書96冊）第1集～4集」をセットで制作・販売した資料を対象として、この『名曲集』の昭和初期の小唄の歴史的・文芸的な特徴をとらえること、そして、その表現技法の特徴を分析することによって、音楽界、舞踊界ともに西洋文化が盛んに流入する昭和初期の、小唄をめぐる座敷舞踊文化の一樣相を浮かび上がらせることを目的とする。

3. 研究の方法

『名曲集』はSPレコード48枚（96曲）と96冊の舞踊解説集から構成されるが、まず、この名曲集の概要と歴史的な特徴を把握し、そして、既に収集できている資料から、邦楽および舞踊の専門家の助言とともに、SPレコードの整理とそのデジタル資料化、歌詞の読解、舞踊振付の読解と再現を試み、その特徴分析を行った。未収集である十数曲の資料は研究期間中、継続的に収集活動に努めた。

4. 研究成果

(1) 『舞踊小唄名曲集』の概要

この名曲集は、日本舞踊と小唄世界の伝統的な技術性とともに、西洋化する社会、変化する社会の諸要素を織りませて作成されている。その点で、「舞踊小唄」といっても、純粋邦楽ジャンルとしての「小唄」や、いわゆる「小唄振り」とは多少意味が異なり、「舞踊小唄」という一種の独自の表現を持ったシリーズと捉えることができる。

① 『舞踊小唄名曲集』制作に関わった重要人物

SPレコード12枚24作品を1集として4セット48枚96作品からなる舞踊小唄名曲集に関わった人物としては、コロムビアレコード

側から佐々紅華、舞踊振付の立場から、河野たつろ、歌手の藤本二三吉である。

佐々紅華(本名:一郎)は、明治19年7月15日、東京都台東区に生まれ、東京蓄音器株式会社で、お伽歌劇という独自のジャンルを確立し、浅草オペラと密接な関わりを持つ。昭和2年、日本ビクターの創設とともにビクターと契約を結び、昭和5年に日本コロムビアに移籍、映画主題歌や流行歌、新民謡などを多く手掛け、昭和10年代に舞踊小唄名曲集の制作の中心的な役割を果たしている。

河野たつろは、明治35年5月9日生れ、東京都出身。コロムビアレコード会社に在籍し、レコードに添付する踊り方解説書に新形式を生み出す。舞踊コンクールの創設や教育レコードによる舞踊講習会を開催するなど、舞踊の普及と振興に深く寄与した人物であり、河野の写真入り振付け解説は、当時の舞踊を再現・継承する画期的な企画であったと位置づけられる。

藤本二三吉は、明治30年11月23日東京市浅草区に生まれ、大正四年、姉小静の芸妓置屋開業に伴い、二三吉と名として葎町花街よりでる。同年、常磐津三蔵に就き常磐津を修める他、端唄・小唄・俗曲を研鑽。昭和3年、日本ビクターと専属契約を結ぶ。以後佐々紅華と組み、流行歌に「浪花小唄」「祇園小唄」「唐人お吉明鳥篇」等のヒットを放ち、昭和8年、日本蓄音器商会(コロムビア)と専属契約を結び「大阪温度」のヒットを出し、以来再び佐々紅華と組んで「新祇園小唄」「新唐人お吉」等の流行歌の他、多くの舞踊小唄の作品を吹込んでいる。明快で快活な歌声が魅力的な歌手である。

② 舞踊を振りつけた重要な人々

振付けを担当した舞踊家は、各舞踊流派にて重要な役割を担っていた人物である。日本舞踊の舞踊家に加え、時代の流れ（興味・関心）からモダンダンスの舞踊家もその振り付けを担当していることが注目される。

関わった舞踊家は、吾妻春枝（4曲）、栗島すみ子（水木歌紅）（5曲）、花月兼久（1曲）、柏木琴章（2曲）、河野たつろ（6曲）、高田せい子（1曲）、橘左近（1曲）、榎茂都陸平（3曲）、西川茂（2曲）、西川司津（1曲）、西川扇五郎（1曲）、西崎緑（4曲）、花柳徳紫（1曲）、花柳壽輔（2曲）、花柳壽美（5曲）、花柳徳太郎（4曲）、花柳徳兵衛（5曲）、林きむ子（10曲）、藤蔭静枝（10曲）、藤間勘素娥（6曲）、藤間勘右衛門（1曲）、藤間勘四郎（2曲）、藤間勘若（1曲）、藤間喜與恵（5曲）、藤間壽右衛門（2曲）、宮操子・江口隆哉（1曲）、若柳吉三郎（3曲）、若柳吉兵衛（1曲）、若柳吉美津（2曲）、振付家未確認（4曲）である。

③作詞を担当した重要な人々

作詞は、西條八十、平山蘆江が多くを担当している。赤染歌恵(2曲)、長田幹彦(2曲)、邦枝完二(1曲)、久保田宵二(1曲)、西條八十(35曲)、佐藤惣之助(9曲)、高橋掬太郎(7曲)、中内蝶二(2曲)、萩原素人(1曲)、平山蘆江(34曲)、松村又一(2曲)である。

表3 作詞家一覧

作詞家名	題名	レコード番号	作詞	題名	レコード番号	
長田幹彦	醍醐の花見	4-20 6-2	高橋掬太郎	櫻盃	3-18 4	
	縄手夜櫻	4-21 4		辰巳草紙	3-18 2-2	
邦枝完二	お傳情史	1-11 8		うかれ獅子	1-10 8-2	
久保田宵二	七五三	3-18 9-2		聚楽舞	1-10 9-2	
	お染	1-10 7-2		雪夜	1-11 8-2	
西條八十	お富	1-11 5		舞妓	3-18 0-2	
	俳聖芭蕉	1-11 7		墨田川	3-18 2	
	仏蘭西人形	1-11 7-2		中内蝶二	桜禿	1-10 9
	柳二題	2-14 9			むらさき	1-11 0-2
	狐島田	2-14 9-2		萩原素人	踊ゆかた	1-11 2-2
	正行	2-15 0	平山蘆江	鐘馗	1-11 1	
	忘れな草	2-15 0-2		身代わり座禅	1-11 2	
	東京三番叟	2-15 1		神楽面	1-11 3	
	蛸をどり	2-15 1-2		両國夜景	1-11 4	
	新唐人お吉	2-15 2		玉菊灯籠	1-11 4-2	
	沖のかもめ	2-15 2-2		寿三番	3-17 9	
	梅暦	2-15 3		扇かざして	3-17 9-2	
	春雨獅子	2-15 3-2		藤袴	3-18 3	
	嶋の朝比奈	2-15 4		文楽	3-18 3-2	
	乙女椿	2-15 4-2		土橋の雨	3-18 5	
	霊峰富士	2-15 5	紅小袖	3-18 5-2		
	紀文	2-15 5-2	おもかげ	3-18 6		
	金魚	2-15 6	水鏡	3-18 6-2		
	白衣の乙女	2-15 6-2	浮名小唄	3-18 7		
	夕顔の巻	2-15 7	かすみ	3-18 7-2		
須磨の巻	2-15 7-2	松葉かんざし	3-18 8-2			
浦島	2-15 8	河童	4-20 3			
孝女白菊	2-15 8-2	花笠	4-20 3-2			
お七人形振り	2-15 9	凱旋	4-20 4-2			
紅日傘	2-15 9-2	伴内	4-20 5			
舞踏会への招待	2-16 0	つく羽根	4-20 5-2			
あやめ娘	2-16 0-2	お初	4-20 6			
芽ふき柳	3-18 4-2	とろろ	4-20 7			

せせらぎ	3-18 9	今様手習子	4-20 7-2	
江戸むらさき	3-19 0-2	丹次郎	4-20 8	
利根の夜船	4-20 4	村そだち	4-20 8-2	
夏木立	4-20 9	男鬚	4-20 9-2	
手兒奈	4-21 0-2	對の網笠	4-21 0	
もらひ水	4-21 3-2	雨やどり	4-21 1	
初出姿	1-10 7	孫悟空	4-21 1-2	
彌次喜多狐	1-11 0	新鳥羽絵	4-21 2	
ほたる	1-11 3-2	日の丸	4-21 2-2	
歌麿ながく	1-11 5-2	能因法師	4-21 3	
三輪の里	1-11 6	かるた会	4-21 4-2	
子守	1-11 6-2	松村又一	櫛巻	3-18 1-2
峠	3-18 0		龍田流し	3-19 0

(2) 『舞踊小唄名曲集』の特徴

①唄：小唄は、本来、清元がかつた早間の調子を取り入れて、粋でいなせな江戸趣味に唄を作り上げるものであるが、レコードの普及によって小唄世界も盛んになり、小唄会が演芸場やホールで盛大に小唄振りを演ずる傾向が強まったことを受けて、この名曲集においても、楽曲が舞台向きに作成されており、華やかな前弾き、そして、作品の余韻を盛り込んだオクリ（後奏）で、劇的に構成される傾向がある。曲によっては洋楽器伴奏、オルガン・ピアノ、合唱を伴うものもあり、現代的な要素が多く盛り込まれている。

②振付け：舞踊の振付けは、小唄に合わせて日本舞踊の物真似ぶりや見立ての技法によって歌詞や内容を表現しているが、第2集でモダンダンス界から高田せい子（舞踏会への招待）、宮操子・江口隆也（白衣の乙女）が振付けを行っていることから、日本的な音楽と西洋の舞踊技法との融合が見られる。

③歌詞：一般的に小唄は庶民生活の多様な様相が取り込まれている唄であり、風俗物、慕情物、おどけ唄、引喩物、心境物、童話物、役者物など、日常・日常の延長線上の題材や言葉が織り込まれているものであり、この名曲集にあっても、生活描写・心情描写が多くあるが、時代の影響（戦争の影響）を受けた作品、例えば、第2集の白衣の乙女（西條八十）、第4集の日の丸・凱旋・今様手習子・夏木立（平山蘆江）、醍醐の花見（長田幹彦）等がある。

(3) 『舞踊小唄名曲集』の現代への継承

名曲集の楽曲のうち、現在でも歌い続けられている舞踊小唄が藤本二三吉の舞踊小唄の復刻CD録音に数曲ある。第1集の「飛梅の賦」「三輪の里」「初出姿」「神楽面」「桜禿」

「お傳情史」「両国夜景」、第2集の「霊峰富士」「忘れな草」「正行」、第三集の「舞妓」「峠」、第4集の「河童」、計13曲である。しかし、舞踊の振り付けの写真が付いているものは既に無い。

西洋の音楽やダンスが日本に流入する時代に、日本音楽や日本らしい表現の伝承を考える佐々紅華が、SPレコードの普及とともに、舞踊の心得が多少なりともあれば、振り付け解説書を使って舞踊に親しんで欲しいという意図のもと、曲と振りを伴った舞踊シリーズを出したことは、戦後に再度、小唄の繁栄と小唄振りの最盛期を迎え、そして、舞踊振り付けシート付きのレコードが多く生産されるようになるきっかけになったと考えられる点で、その役割は大きかったと思われる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 (計1件)

矢島ますみ、昭和初期の小唄レコードと舞踊-コロムビア SP レコード『舞踊小唄名曲集 第1集～第4集 48枚 96作品』の役割-、有明教育芸術短期大学紀要、査読有、1巻、2010、第1号 pp.165-177.

〔学会発表〕 (計0件)

〔図書〕 (計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

矢島 ますみ (YAJIMA MASUMI)
明海大学・経済学部・准教授
研究者番号：80220135

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし